

ドラッグインフォメーション

平成 30 年 4 月改訂

販売名	グリセリンカリ液「東豊」	発売元	吉田製薬株式会社					
局方名	日本薬局方 グリセリンカリ液	製造販売元	東豊薬品株式会社					
洋名	Glycerin and Potash Solution	販売年月	1955 年 9 月					
一般名	グリセリンカリ液	薬価収載年月	2008 年 7 月					
剤形	液 剤	薬 価	10mL 12.30	健保適用				
規制区分	普通薬	日本標準商品分類番号	872662					
厚生労働省薬価基準収載医薬品コード	2662701X1290	YJコード	2662701X1290					
性状	無色澄明の液で、芳香がある。 本剤の水溶液は(1→5)のpHは約 12 である。 比重 d_{20}^{20} : 約 1.02							
組成	本剤 1000mL 中に水酸化カリウム 3g、グリセリン 200mLを含む。 添加物としてエタノール、香料を含有する。							
効能効果	手足のき裂性・落屑性皮膚炎							
用法用量	通常 1 日 1～数回適量を患部に塗布する。							
薬理作用	水酸化カリウムは皮膚の角質を軟化し、グリセリンは皮膚軟化及び乾燥防止作用により、皮膚の亀裂に対し効果がある。しかし、連用により少しの刺激にも侵されやすくなることもある。							
使用上の注意	1. 副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">種類\頻度</td> <td style="padding: 5px;">頻度不明</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">皮膚^{注)}</td> <td style="padding: 5px;">刺激感、発赤等</td> </tr> </table> 注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。				種類\頻度	頻度不明	皮膚 ^{注)}	刺激感、発赤等
種類\頻度	頻度不明							
皮膚 ^{注)}	刺激感、発赤等							
	2. 適用上の注意 使用時 (1)粘膜には使用しないこと。 (2)連用により、皮膚が刺激に対して弱くなることもあるので、長期連用を避けること。							
備考	貯法: 気密容器 包装単位: 500mL	文献 請求先	吉田製薬株式会社 学術部 東京都中野区中央 5-1-10 TEL 03-3381-2004					